

1. 基本理念

「高齢者の人権と自立が尊重され、みんなで支え合いながら、住み慣れた地域で、健康でいきいきと、その人らしく安心して暮らせる社会」の実現。

2. 第7期の振り返り

(1) 主な実績

- 住民主体の介護予防活動の実施（くまもと元氣くらぶの創設等）
- 一人ひとりに応じた自立支援・重度化防止（自立支援型地域ケア会議の開催、リハビリテーション専門職派遣事業等）
- 住民主体による地域支え合い（通所・訪問・移動支援サービスの創設等）
- 地域課題を施策立案につなげる体制の構築（日常生活圏域・区・市の地域包括ケアシステム推進会議の開催）

指標名	第6期 目標 H29年度:79.41%			第7期 目標 R2年度:78.46%		
	基準値 H27年度 (2015)	実績値 H28年度 (2016)	実績値 H29年度 (2017)	実績値 H30年度 (2018)	実績値 R元年度 (2019)	目標年次 R2年度 (2020)
65歳以上の元氣な高齢者の割合 ※	78.46%	78.54%	77.98%	78.15%	78.31%	年末頃 算出予定

※65歳以上の「元氣な高齢者の割合」とは、「要介護・要支援の認定を受けていない方の割合」（9月末時点）。



(2) 今後の主な課題

	重点方針	施策
人生100年時代を見据えた、高齢者の生きがいづくりや活躍の機会の創出	①	①
健康寿命のさらなる延伸に向けた、地域の健康づくりや介護予防活動の普及拡大と担い手の確保	①②	②
自立支援・重度化防止の理念のさらなる普及拡大と浸透	②	②
高齢化のさらなる進展と複合的課題を抱える世帯への対応強化に向けた、高齢者の支援体制の充実と介護保険制度の円滑な運用	③	③～⑨

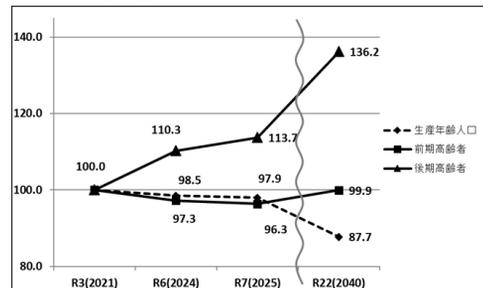
3. 第8期の基本的な考え方

(1) 目標値

指標名	第7期 実績		第8期 目標
	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R5年度 (2023)
65歳以上の元氣な高齢者の割合	78.15%	78.31%	78.46%

今後、要介護・要支援の認定率が高い後期高齢者の増加が見込まれる中、要介護・要支援の認定を受ける方の増加を抑えることで、その割合を維持していくことを目標とする。

参考 令和3（2021）年を100とした場合の人口推移



(2) 計画の重点方針

- ① 生涯現役として活躍し続けられる、多様な社会参加の機会の創出
- ② 生涯健康でいきいきとした生活が送れる、地域の健康づくりや介護予防の促進と自立支援・重度化防止の理念の普及
- ③ 生涯安心して暮らせる、支援体制の確保と強化（地域共生社会も見据えた検討）



くまもと はつらつプラン 骨子（案）の概要

（3）施策の展開

① 生きがいづくり

主な取組案

- 高齢者の生きがいづくりや健康づくり等を一層促進するための支援策の検討
- 就労機会の確保に向けたマッチング等、就労的活動の支援の強化 等

② 健康づくり

主な取組案

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 等

③ 生活支援

主な取組案

- 地域共生社会を見据え、高齢者のみならず、障がい者、子ども・子育て家庭、生活困窮者等、分野にかかわらず受け止める相談・支援の体制整備の検討 等

④ 住まいの確保

主な取組案

- サービス付き高齢者向け住宅の登録基準の緩和（改修のみ）やバリアフリー化の支援 等



くまもと はつらつプラン 骨子（案）の概要

⑤ 認知症高齢者の支援

主な取組案

- 認知症施策推進大綱等を踏まえた「共生」と「予防」に向けた取組の推進やICTを活用した認知症高齢者見守り体制の構築 等

⑥ 権利擁護

主な取組案

- 熊本市成年後見制度利用促進計画に基づく、成年後見制度の利用促進 等

⑦ 在宅医療・介護の推進

主な取組案

- 在宅医療市民講演会やメッセージノートに関する出前講座等の実施 等

⑧ 介護保険制度の円滑な運営とサービスの質の向上

主な取組案

- 医療介護総合確保基金を活用した介護人材の定着促進・確保に向けた取組の推進 等

⑨ 介護サービス基盤等の整備

主な取組案

- 中長期の高齢者人口を見据えた計画的な整備 等

